

厚生労働省
群馬労働局発表
平成31年3月1日

【照会先】
群馬労働局労働基準部健康安全課
課長 大村 悦男
課長補佐 飯泉 幸男
産業安全専門官 鈴木 淳
(電話) 027-896-4736

平成31年(1月)の労働災害発生状況

－ 死傷者数75人・死亡者数1人 －

1 労働災害の発生状況 (資料1:「平成31年労働者死傷病報告受理件数表」資料2:「平成31年死亡災害事例」)

群馬労働局管内における平成31年の労働災害による休業4日以上死傷者数は、1月末日時点での速報値で75人、そのうち死亡者数は1人となっています。

【昨年同期に比較した特徴】

- ・ 死傷者数は22人減少(昨年同期の97人より22.7%減少)
- ・ 死亡者数は増減なし(昨年同期も1人)
- ・ 業種別では清掃・と畜業(4人→6人)、社会福祉施設(3人→5人)等において死傷者数が増加

2 労働災害の防止に向けた取組

【雇入れ時教育等の徹底】(参考資料:「労働災害が増加しています!!」)

休業4日以上労働災害による死傷者のうち、3割以上を経験年数1年以内の労働者が占めています。年度初めは、雇入れ、配置転換等で新たな作業に就く労働者が多く、経験年数が浅い労働者の被災を防止するためには、法定の「雇入れ時教育」「作業内容変更時教育」が事業場で確実に実施されることが重要です。

そのため、雇入れ時教育等の徹底をはじめとした未熟練労働者に関する災害防止対策について重点的に取り組めます。

【転倒災害防止強調期間】(1月～3月)

- ・ 積雪や凍結等により転倒の危険が高まる冬季における転倒災害を防止するための具体的対策の取組について、災害防止関係団体への要請、各種団体への広報等による周知・啓発活動を行います。

平成31年 労働者死傷病報告受理件数表

資料1

平成31年1月末現在
群馬労働局

業種別	署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
製 造 業		2	8	1	6		2		19	36	-17
	食料品製造業		3		2		1		6	10	-4
建 設 業			2		1				3	1	-1
	木造家屋等 建築工事業									6	-3
										1	-1
運 輸 交 通 業		5	4	2	1				12	17	-5
	道路貨物運送業	2	4	1	1				8	17	-9
林 業		1		1				1	3	2	1
小 売 業		1		1	1				3	9	-6
社会福祉施設			3	1	1				5	3	2
接客娯楽業			3				3		6	7	-1
	飲食店		3						3	1	2
上記以外の事業		5	1	3	9	1		1	1	17	1
	清掃・と畜業	2	5		2	1		1	24	7	7
			1						6	4	2
計		14	25	9	19	4	2	2	75	97	-22
前年同期		1	45	10	13	6	6	2	1	97	
増 減		-1	1	-1	6	-2	-4		-22		
		-1	-20								

災害の種類別

災害の種類別・署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減	
事故の 型別	墜落・転落	1	1	1	5		1	1	17	15	2
	転倒	5	4	1	3	4		17	28	-11	
	はさまれ・ 巻き込まれ	2	2	1			2	7	17	-10	
	切れ・こすれ	1	3	1	2			7	3	4	
	動作の反動・ 無理な動作	4	4	1	1			10	11	-1	
起因物 別	建設機械等		2					2	1	1	
	食品加工用機械						1	1	1		
	トラック	1	4		5			10	9	1	
外国人の災害		2		1				3	3		
建設公共工事の 災害		1						1	1		

- 注1 この表は、死亡及び休業4日以上労働者死傷病報告を集計しています。
 2 各項目の下欄は死傷者数合計、上欄は死亡者数で下欄の数の内数です。
 3 下の表は災害の種類別で、特に項目を設定して集計しています。

資料2

平成31年 死亡災害事例（建設業以外）

平成31年1月末現在
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 労働者数	年齢 性別 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
1	1月 14時頃 20人	70歳代 男 作業者	雨どい修理のため、脚立を使用して作業していたところ、バックしてきたフォークリフトが脚立に接触し、バランスを崩した被災者が、高さ約3mから墜落した。	農業	墜落、転落	はしご等

労働災害が増加しています!!

被災者のうち新たな作業についてから
3人に1人が1年以内に
 被災しています（被災者の経験年数の内訳）

平成30年（平成31年1月末速報値）に群馬労働局管内で発生した休業4日以上の労働災害による死傷者数（2,318件）を経験年数別にみると、**経験年数1年以内**の死傷者数が685人で全体の**29.6%**を占めています。

さらに経験年数1年以内の内訳をみると、**6か月以内**が**56.1%**を占めています。

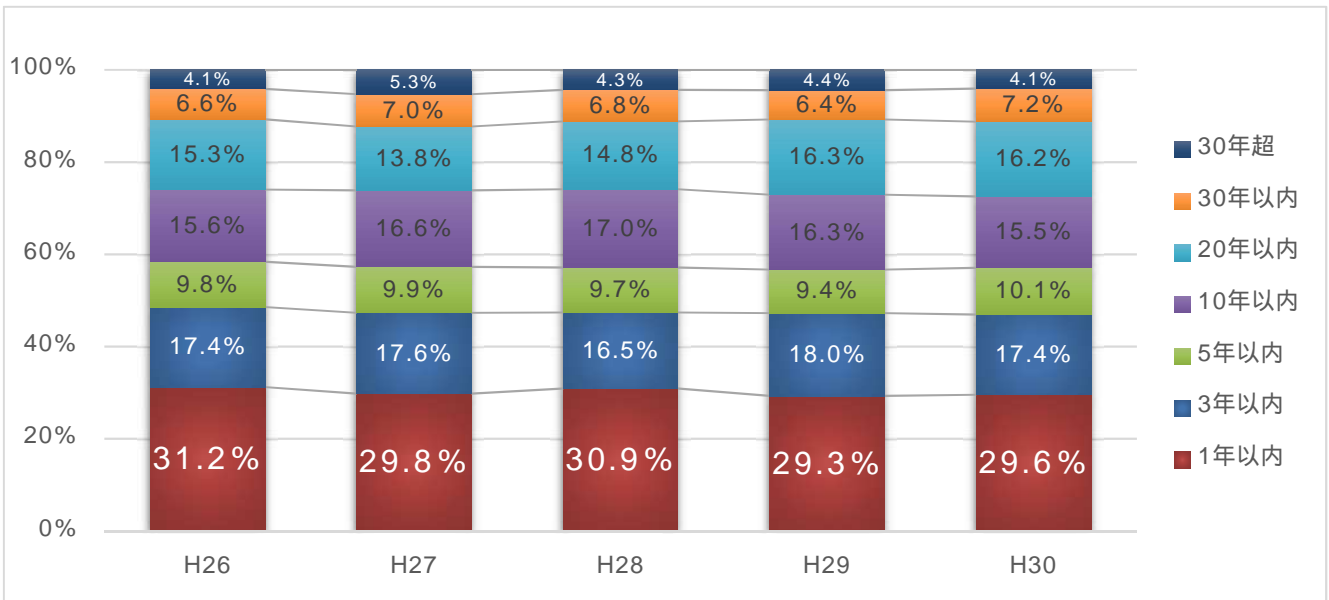


図-1 経験年数別労働災害発生状況割合の年別推移
 資料:労働者死傷病報告(平成30年は平成31年1月末の速報値)

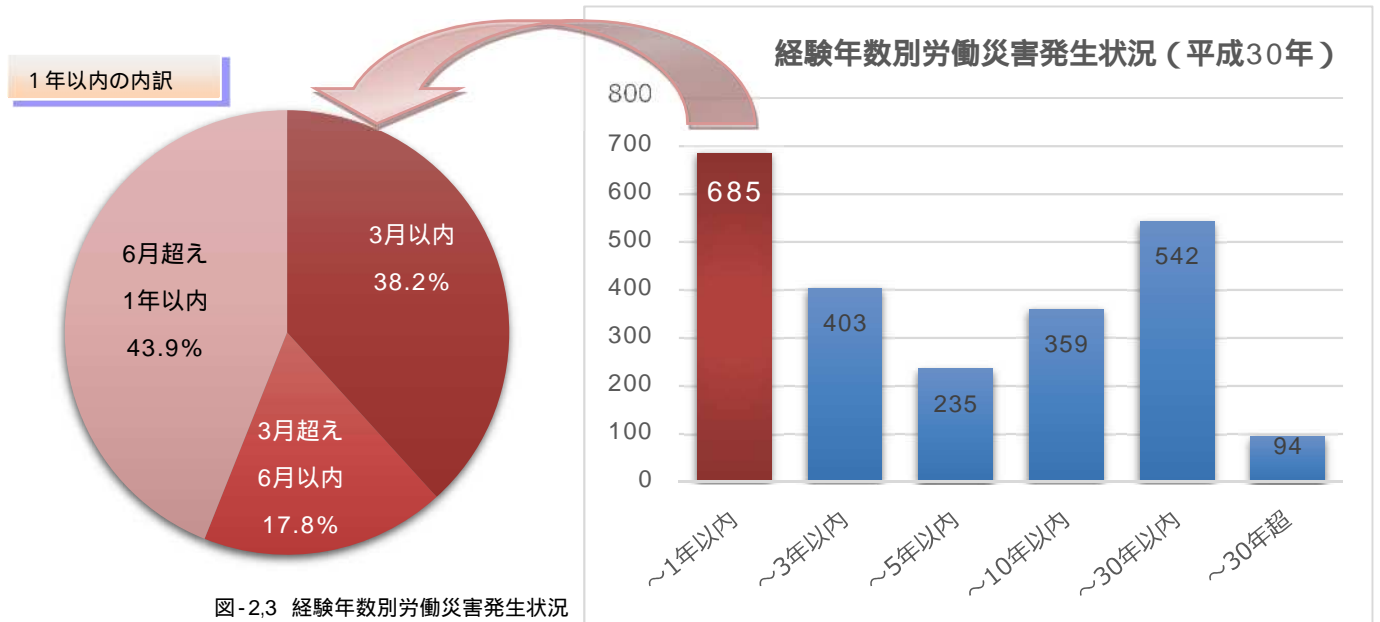


図-2.3 経験年数別労働災害発生状況
 資料:労働者死傷病報告(平成30年(平成31年1月末速報値))

経験年数 1 年以内の労働災害は、製造業と商業で多く発生しています。
 事故の型別でみると、「はさまれ・巻き込まれ災害」と「転倒災害」が多く発生しています。

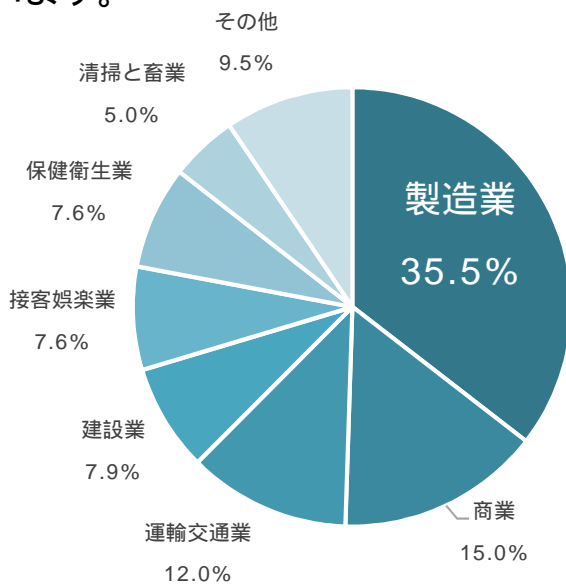


図-4 経験年数 1 年以内の業種別労働災害
 資料: 労働者死傷病報告(平成 30 年(平成 31 年 1 月末速報値))

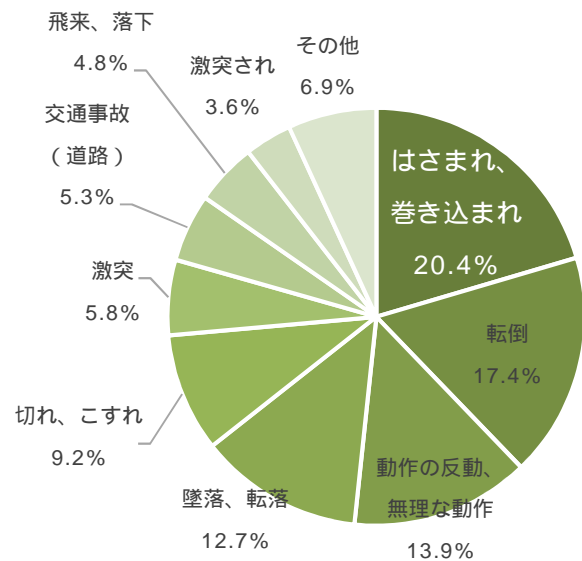


図-5 経験年数 1 年以内の事故の型別労働災害
 資料: 労働者死傷病報告(平成 30 年(平成 31 年 1 月末速報値))

～ 事業主の皆様へ～

雇入れや作業内容を変更し、新たな作業についたときは、労働災害を防止するための
安全衛生教育を必ず実施しましょう



～ 労働者の皆様へ～

- 1 雇入れ時等に受けた**安全衛生教育**を確実に守りましょう。
- 2 職場の**整理整頓**を実施しましょう。
- 3 機械のカバーは勝手に外さないこと、また、掃除等の際には機械の停止を必ず確認しましょう。
- 4 保護帽、安全靴などの**安全装備**は正しく着用しましょう。

